

《研究課題名》

大規模ゲノムコホート連携による疾患発症や中間表現型等にかかわる遺伝的素因の解明と遺伝環境相互作用解析

《研究対象者》

2006 年以降に「滋賀県における生活習慣病の発症要因に関するコホート研究」に参加同意をされた方で、日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study) および将来の新たな共同研究への参加同意された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関するご質問は下記 (4) の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

《研究課題名》

大規模ゲノムコホート連携による疾患発症や中間表現型等にかかわる遺伝的素因の解明と遺伝環境相互作用解析

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2024 年 3 月 31 日

《研究全体の責任者》

岩手医科大学岩手東北メディカル・メガバンク機構 機構長 佐々木真理

《本学における研究責任者》

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 職名 教授 氏名 三浦 克之

(2) 研究の意義、目的について

本研究は、日本多施設共同コホート研究と東北メディカル・メガバンク計画、多目的コホート研究、鶴岡メタボロームコホート研究、愛知県がんセンター病院疫学研究の 5 つの研究が包括的な共同研究の枠組みを構築することで、日本人の病気の発症に影響を与える遺伝的な素因の解明と個別化予防を実現することを目的としています。

(3) 研究の方法について

本研究では日本多施設共同コホート研究と東北メディカル・メガバンク計画、多目的コホート研究、鶴岡メタボロームコホート研究、愛知県がんセンター病院疫学研究の 5 つの大規模ゲノムコホート研究を統合し、1) ゲノム情報を含む Individual Participant Data (IPD) 解析を実施するための基盤構築、2) 体制構築後に複数の疾患や表現型に対して関連解析を実施、

評価、得られた知見を元に個別化予防の実現に向けた課題整備を行う共同研究です。東北メディカル・メガバンク計画で実施された一次調査参加者計 15 万人の基本情報、ゲノム配列情報、調査票情報、検査情報と日本多施設共同コホート研究、多目的コホート研究、鶴岡メタボロームコホート研究、愛知県がんセンター病院疫学研究の同等の情報を東北メディカル・メガバンク機構が管理する AMED スーパーコンピュータに保管し、疾患や表現型を対象に全ゲノム関連解析 (GWAS) やメンデルランダム化解析、発症リスク予測モデル構築などを参画機関の研究者が分担して実施します。

《利用する情報の項目》

情報：病歴等の基本情報、ゲノム配列情報、調査票情報、検査情報, 等

《情報の提供先》

日本多施設共同コホート研究の研究代表機関である名古屋大学から東北メディカル・メガバンク機構に情報を提供し、同機構が管理する AMED スーパーコンピュータへデータを保存します。このスーパーコンピュータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で管理します。

《情報を利用する者の範囲》

本研究に参加する組織と各組織の責任者は以下です

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構・機構長・佐々木真理
岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構・副機構長・清水 厚志
東北大学東北メディカル・メガバンク機構・機構長・山本 雅之
国立がん研究センター社会と健康研究センター・部長・岩崎 基
慶應義塾大学医学部・教授・武林 亨
愛知県がんセンター研究所・分野長・松尾恵太郎
千葉県がんセンター研究所がん予防センター・部長・三上 春夫
神奈川県立がんセンター臨床研究所・部長・成松 宏人
静岡県立大学食品栄養科学部・教授・栗木 清典
名古屋市立大学大学院医学研究科・教授・鈴木 貞夫
名古屋大学大学院医学系研究科・教授・若井 建志
敦賀市立看護大学看護学部・教授・喜多 義邦
滋賀医科大学医学部・教授・三浦 克之
京都府立医科大学大学院医学研究科・教授・上原 里程
徳島大学大学院医歯薬学研究部・教授・有澤 孝吉
九州大学大学院医学研究院・准教授・池崎 裕昭
佐賀大学医学部・教授・田中恵太郎
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・教授・嶽崎 俊郎

《試料・情報の管理について責任を有する者》

岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構 機構長 佐々木真理

(4) 本研究に用いた情報の二次利用について

本研究に用いた情報の二次利用は現時点では計画しておりませんが、今後、計画された場合は、倫理審査委員会において承認を得てから行います。

(5) 本研究に関する問い合わせ先

高島研究事務局

滋賀医科大学 NCD 疫学研究センター 准教授 門田文 (担当：谷口)

客員准教授 高嶋直敬

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-3658

メールアドレス：takasima@belle.shiga-med.ac.jp (高嶋)

ytani@belle.shiga-med.ac.jp(谷口)